

せんにちあま ご ぜん ご へん じ
 「千日尼御前御返事」
 しんじつ ほう おんきょうのこと
 (真実報恩経事)

こ きょうもん いっさいきょう すぐ
 此の経文は一切経に勝れたり
 ちはし もの おう し しおう
 地走る者の王たり師子王のごと
 そらと もの おう わし
 し・空飛ぶ者の王たり鷲のごと
 な む あ み だ ぶ つ きょう どう 雉
 し、南無阿弥陀仏経等はきじの
 う さ ぎ わ し
 ごとし兎のごとし・鷲につかま
 な み だ し し
 れては涙をながし・師子にせめ
 は ら
 られては腸わたをたつ

(御書 1310 ページ)

通解

ほ け きょう
 この法華経の経文は、一切経の中
 も っ と す ぐ
 で最も勝れている。地を走る者の王
 である師子王のようである。空を飛
 ぶ者の王である鷲のようである。
 な む あ み だ ぶ つ き じ
 南無阿弥陀仏の経などは、雉のよ
 うであり、兎のようである。鷲につ
 かまれては涙を流し、師子に責めら
 れては腸を断つのである。

勇気の一步で成長の秋を！

よくわかる解説

本抄は、弘安元年（1278年）7月、日蓮大聖人
 が佐渡の女性門下の千日尼に与えられたお手紙です。
 千日尼は、夫・阿仏房と共に大聖人の弟子となりました。
 大聖人が佐渡流罪を赦免になり、身延に入られた後も、
 何度も供養の品や手紙をお届けしています。

この御文では、法華経が一切経（仏教の全ての經典）
 の中で最も優れていることが示されており、法華経を
 “地を走る王、である師子と、”空を飛ぶ王、である鷲
 に例えられます。

なぜ法華経が最も優れているのでしょうか。それは、
 法華経が「万人の成仏」を説いた唯一の經典だからです。
 その象徴が「女人成仏」です。法華経以外の經典では、
 女性はその身のままで成仏できないとされています。
 一方、大聖人は本抄の中で法華経に説かれる「竜女の
 成仏」について触れられ、女性の成仏が万人の成仏の
 手本であると述べられているのです。

この「竜女の成仏」は、その身のまま、生きているう
 ちに「仏の生命」を引き出すことができるということ
 を表現しています。全ての人が、尊い生命を持ち、自分ら
 しく輝くことができる——釈尊が覚ったこの偉大な法理
 が、私たちの信仰の根幹にあります。

そして、「仏の生命」を引き出すための実践が、南無
 妙法蓮華経の唱題行です。祈ることで生命力が湧き、何
 事にも前向きに挑戦する勇気が出ます。勉強に挑戦する
 こと、部活に打ち込むこと、友達に励ましの言葉を送る
 こと、全てが勇気の一步なのです。

池田先生は呼び掛けられています。

「大きな使命の青春は苦労も大きい。しかし信心は『勇
 気』の異名である。題目を唱え、『師子王の心』を取り
 出して、いかなる壁も恐れず挑もう！」

今年度も折り返しの時期。師子王の心で「成長の秋」
 にしていきましょう！